

岩室村の人口

(4月1日現在)

男	4,289人	(-)
女	4,888人	(△34)
計	9,177人	(△34)
世帯数	2,025世帯	(+3)

(住民基本台帳による)



発行所 岩室村役場
印刷所 巻・北洋印刷K.K

No.109

奉賛会からのお願

八月開眼めざして

越後七浦観音着工

田植後に村内募金をお願い

三月十六日に結成された観音像建立奉賛会では、その後建設委員会、募金委員会などの小委員会や全体会議を開いて、具体的な建設計画や募金計画を検討していましたが、去る四月十九日に現地調査を行なった結果、建立位置を決まり、早速着工されました。

五月末頃には形ができて上がり、その後入念な仕上げが施されて、七月末完成、八月一日に盛大な開眼供養

を執行する予定です。一方、募金計画についても着々準備が進み、村外に對しては、四月下旬から討議を重ね、四月下旬から募金が始められ、故郷を遠くはなれて活躍している方々からの尊い浄財が、続々と寄せられております。

村内のみなさんには、近く全戸に趣意書をお配りした上で、全く自発的なお気が持ちからのご寄附をお願いすることになりました。



▲縮尺20分の1模型の写真。実物が完成する

聖観音像礼讃の記

石瀬区长 本間 八十太郎 記

海上を照らす間瀬灯台と対照的に、心を照らす観音の霊像が、風光明媚な間瀬七浦海岸に建立されることに歓喜を覚えると同時に、偉大な彫塑家早川亜美先生の発願と、アデアマンとうたわれる横山村長の着想との、符節が合ったことを喜び、心からの賛意を惜しまないものである。

経済成長はさることながら、物質至上主義の横行、これに禍いされて人間性喪失し、社会現象の現われている今日、精神を健全にする、人間関係に温い血が交流する、好ましい社会形成のために、深く大きな意義がある。

全村あげての奉賛会が結成された。その一員としての私なりの希望。

① 観光開発につながることは、あくまでも信仰を主体としてほしいこと。主客顛倒しては観音様を冒とくすることにもなる。

② 精神更生の一大事業でも、あるから、浄財喜捨は金額の大小にかかわらず、全村各戸へ呼びかけること

とが望ましい。
③ 観音の霊場であることに心して、これにふさわしい環境の整備保全に万全を期することが大切である。大自然の山泉草木、観世音菩薩でもある。
④ 観音の霊徳を顕現するため名僧を招き、開眼供養は全村あげて盛大にやっしてほしいこと。

観音様とは？……凡俗の私が描いている観世音菩薩。

① 観世音菩薩の御名
世音を観する菩薩。現実の種々相をつかさどる妙智(みょうち)……宇宙万物をはぐくみ育て行く(神秘の力)を、人の姿になぞらえて観世音菩薩と名付けたもの。
② 観世音菩薩は、世音を観じて三十三種の化身を現わす。聖観音を中心になり、時に千手千眼、十一面・馬頭・如意輪観音などで、観世音本来無形身なので、あらゆるものに座現(のり移って姿を現わすこと)することができなくとも、

③ 「南無(敬い)信じ、どうぞどうぞとすがの意味)観世音菩薩」と一心に唱

名すれば、あらゆる願いをかないさせていただけられる人に邪心があれば、利益はない。そのどちらでもない。(あるいはどちらでもある)要に応じて救難に趣く宇宙遍在の生命力を表現したものである。しかし、普通は女性の姿で現わされているらしいが、人間の姿を離れないでしかも超人間的な美人に彫らねばならないから、仏像を彫る中でも一番むづかしいといわれている。

投書には記名を

最近、村長や役場宛に、村の行政その他のことについての投書が増えていると聞いております。その内容の大部分は、建設的な意見や質問などですが、無記名のものが多く、事情説明や回答ができなくて困ります。投書の名前を書いて、どしどしお寄せ下さるようお願いいたします。